

令和7年度「ぽぽら春日部」実施事業【4月～12月】 課題と今後の対応に対する意見等

No	事業名	市からの意見等	運営協議会からの意見等
1	利用者会議	参加者数が安定してきている点は評価できる一方、市民活動センターとして多様な団体の意見を反映していく観点から、より幅広い団体が参画できる工夫が必要である。新規登録団体への働きかけについては、その趣旨や参加の意義が十分に伝わるよう配慮しながら進めていくことが望ましい。	
2	利用者アンケート	利用者の声を把握し、施設運営や事業改善につなげようとする取組は重要であると考え。回答率向上に向けた工夫については、利用者が設問の意図を理解しやすくなるような改善を行い、より実態を反映した結果が得られるよう取り組んでほしい。	
3	市民活動講座	登録団体の活動基盤強化を目的とした講座を実施している点は、市民活動センターの役割に沿った取組であり評価できる。今後は、団体のニーズや活動段階に応じた内容・周知方法の工夫を行うなど、参加してみたいと思うような魅力ある講座も期待している。	
4	協働を促す企画	市民団体同士の協働の場が創出されている点は評価できる。加えて、企業や大学など多様な主体との連携は、市民活動の広がりや持続性の観点からも重要であることから、引き続き協働のきっかけづくりに向けた取組を進めてほしい。	
5	市民団体交流会	3月7日実施予定	
6	周年記念イベント 「ぽぽらフェスティバル」	団体の活動発表の場として、団体間の交流や市民への周知に寄与している点は高く評価できる。15周年記念事業として実施するにあたっては、これまでの成果を踏まえつつ、市民活動センターの役割や今後の展望が伝わる内容となるよう工夫も必要である。	
7	月間イベント	幅広い団体が活用できる仕組みとする視点は重要である。引き続き、制度の周知や利用促進に努めるとともに、参加団体の偏りが生じないように、状況を確認しながら当該事業の運用にあたってほしい。	
8	情報発信	ホームページやSNS等による情報発信が着実に拡大している点は評価できる。一方で、市民活動センターとしての公共性を踏まえ、発信内容や基準については市と連携しながら整理し、適切な情報発信を進めてほしい。	
9	相談事業	団体登録に関する相談が多いことは、市民活動センターが活動の入口として機能している表れであると考え。判断に迷うケースについては、事例の共有や整理を通じて対応の考え方を蓄積し、相談体制の充実につなげていくことが望ましい。	
10	運営パートナー制度	運営パートナーが施設運営を支える大切な役割を担っていることから、新たな担い手の確保は重要な課題である。来館者への声掛けや継続的な募集を通じて、世代や経験の幅が広がるよう取り組んでほしい。	

No	事業名	市からの意見等	運営協議会からの意見等
11	モヤモヤカフェ	地域課題や市民活動への関心を喚起する場として、有意義な取組であると考えます。今後は、登録団体の活動紹介等も含め、多様な視点から市民が参加できる機会となるよう検討してほしい。	
12	フィールドリサーチ 団体訪問	地域に向いて活動実態や支援ニーズを把握する取組みは、市民活動センターとして重要である。引き続き、得られた情報を蓄積・共有し、相談事業や講座企画等に生かしてほしい。	
13	施設利用の活性化	施設の設置目的を踏まえた柔軟な運用と、利用しやすい環境づくりは重要である。課題となっていた貸事務所については、12月より1件の入居があり、利用促進に向けた一定の成果が確認されたものと評価できる。引き続き、市と協議しながら、適切な利用ルールのもとで施設の有効活用が図られるよう取り組んでほしい。	
14	施設PR	市内イベント等を通じた継続的なPRは、市民活動センターの認知度向上に資するものと考えます。今後も、さまざまな機会を捉え、市民や団体に対して施設の役割や活用方法が伝わるよう取り組んでほしい。	
15	シンポジウム	2月14日実施予定	
16	活動見本市	1月19日～3月14日実施予定	